



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	巻頭言
Author(s)	堀田, 真紀子; Horita, Makiko
Description	特集: 地域発・草の根文化の時代 = Introduction to Times of Grassroots Cultures
Citation	国際広報メディア・観光学ジャーナル, 13, 3-3
Issue Date	2011-11-30
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/47559">https://hdl.handle.net/2115/47559</a>
Type	other
File Information	JIMCTS13_001.pdf



## 巻 頭 言

堀田真紀子

今、日本各地で文化・芸術政策へのテコ入れが行われていますが、その多くは、文化を生み出すための土壌を生み出し、種を撒くことから始めるというより、土もないところに、どこか別のところで育った花をそのまま持ってきて移植しようとするような性急さを伴っているように思われます。根付き成長するために必要な土がないところに移植された花を維持するには、膨大なエネルギーを外から注入する必要があります、とても持続可能とはいえません。その結果は資金の枯渇や関係者の疲弊となってあらわれるでしょう。

これに対して、私たちが提唱するのは、ここに種まくことから始める道。また、その種が根付き、自力で花咲かせ、種が落ちて次世代が育ち持続可能に循環していけるような土づくりから始める道です。

それには、ここに適した植物は何か、すでに私たちは何をもっているか、そこにどう積み上げると、グローバルな世界でこそますます意味を持つ地域色豊かな文化を繁茂させることができるか、考えることから始めなければなりません。

また、地域の人々の悩みや夢にぴったり寄り添い、生きがいや治癒力の源となりながら、その存在意義を示せるような文化発信の形が問われるでしょう。これは自分たちの文化だ、自分たちになくってはならぬものだと感じたとき、地域の人々は文化の支え手として、文化がしっかりと根付くための豊かな土壌を提供してくれるはずで

インターネット社会の進展とともに、地域発・草の根文化は、中央の権威的制度や、主要メディアを経ずして、いきなりグローバルな発信ができるようになりました。地球大にはりめぐらされたウェブが地下茎のように草の根文化を結びつけていますが。それは私たちにどんな可能性をもたすかについても、考えてみたいと思います。

ただし、試みははじめられたばかり。皆の知恵を結集する必要があります。ともにアイデアや経験やノウハウ、ストラテジーを分かち合い、共通のヴィジョンを探りながら、北大スタッフ協力のもと、来るべき時代の文化の地勢図を描きなおしましょう。

以上の呼びかけのもと、私たち国際広報メディア・観光学院主催、メディア文化論コースが中心になって、「地域発・草の根文化の時代」というタイトルのシンポジウムを、2010年10月30日（札幌）、11月6日（東京）に行いました。本特集号は、その成果をまとめたものです。

シンポジウム開催と、それに結実する勉強会では、本学院スタッフ、学生の方々をはじめ、本当にたくさんの方々にお世話になりました。とくに、ここで印刷物として公開させていただく「北海道の草の根文化概観」展示は、関連諸団体、個人の方々の協力のたまものです。この機をかりて、深く感謝の意を述べさせていただきます。ありがとうございます。